

星空の
2026 4
April
www.am12.jp
レシピ
VOL. 376

特集

休館中でも楽しめる
子午線標識を巡ろう！



休館中でも
楽しめる

子午線標識を巡ろう!

天文学館は現在リニューアル工事休館中のため、皆さまに来館していただくことができません。でも、明石市内には天文学館の塔と同じく、東経135度子午線が通っている位置を示す「子午線標識」がいくつもあります。そこで今回の特集では、休館中でも楽しむことができる子午線標識巡りをご紹介します。お出かけに良い季節、「子午線標識」を巡って「時」を感じてみませんか。

日本標準時子午線と明石

? 子午線って何?

古い時代、方位や時刻を十二支で表し、真北（北極点の方向）を「子(ね)」真南（南極点の方向）を「午(うま)」と呼びました。子午線とは、真北と真南を結ぶ線のこと、いわゆる経線のことです。明石を「子午線のまち」と言いますが、これは「日本標準時の基準となる東経135度子午線上のまち」という意味があります。



? どうして東経135度?

19世紀に入り、世界中で交通や通信が発達、各国の交流も盛んになりました。そのような中で、それまで各地でバラバラであった時刻の基準について、統一したものを定める必要が出てきました。1884（明治17）年、アメリカのワシントンで国際子午線会議が開かれ、イギリスのグリニッジ天文台を通る子午線を経度0度とすることが決まりました。また、世界の各国は経度を360度÷24時間=15度へだててごとに1時間ずつの時差を持つ時刻を使用することが決まりました。この会議の決定により、日本では、グリニッジから9時間の時差となる東経135度子午線が日本のほぼ中央を通過することから、東経135度子午線上の時刻を日本の標準時とすることが1886（明治19）年に決まりました。そして今年2026年は、この日本の標準時が決まってから140周年の記念の年となります。

? 子午線標識と天文学館

日本の時刻を決める重要な場所があることを知らせるため、この日本標準時子午線が通る場所に建てられたのが「子午線標識」です。最初の子午線標識は1910（明治43）年、参謀本部の測量地図にもとづいて、相生町の国道筋と今の神戸市西区平野町黒田（当時は明石郡平野村黒田）の県道沿いに建てられました。

その後、日本の地図原点の修正によって子午線の位置がずれたことや、戦後復旧の気運の高まりなどから、日本標準時子午線の標識は天文観測にもとづく天文経度により建てられるべきとの考えが強まりました。そして1928(昭和3)年と1951(昭和26)年の2度、天文観測による子午線位置の決定が行われました。天文学館は2度目の天体観測により決定した子午線上に建てられています。

天文経度と世界測地系

東経135度の位置は、その基準となるものによって異なります。ここでは、明石にある子午線標識の位置の基になった「天文経度」と「世界測地系」についてご紹介します。

- ①天文経度 その地点で恒星が通過する時刻を計測することによって導きだされる経度です。
- ②世界測地系 VLBI*や人工衛星を用いた観測によって明らかとなった地球の正確な形状と大きさに基づいて構築された経度・緯度の測定の基準で、国際的に定められているものです。

* VLBI：宇宙のかなたにある天体から届く電波を利用して、地球上のアンテナの位置を高精度に測る技術。
(出典：国土地理院ウェブサイト <https://www.gsi.go.jp/LAW/G2000-g2000-h3.htm>、<https://www.gsi.go.jp/uchusokuchi/vlbi-about.html>)

子午線標識MAP



①太寺4丁目子ども広場の子午線標識 ②時の道の子午線ライン
③トンボの標識 ④明石市立天文学館 ⑤人丸前駅プラットフォーム
⑥子午線郵便局・ボランティアサポートプログラム(VSP)サインボード ⑦国道2号の標識 ⑧最初の子午線標識
⑨明石区検察庁子午線標識 ⑩モニュメント「刻」 ⑪トンボの標識(レプリカ) ⑫大蔵海岸ランニングコース子午線表示

1 太寺4丁目子ども広場の子午線標識

2016年11月に設けられた住民手作りの標識です。明石市内では最も北に位置します。



2015年に天文学館で開かれた市内の子午線標識を巡るツアーに参加した住民の調べにより、日本標準時子午線が住宅街の中にあるこども広場を通っていることが分かり、「子午線が通る場所で遊んだことが、子どもたちの思い出や誇りになってほしい」と町内住民が賛同し、標識設置の準備が進められました。

標識は、交通安全などで使われる蛍光反射の黄色いたすきに、7世紀後半に造営され地元に存在したとされる寺院「太寺」の塔をイメージしてデザインされたものです。また、こども広場の入り口には看板も設置してあります。

場所 明石市太寺4
基準測地系 天文経度(S26)
設置年 2016(平成28)年

3 トンボの標識

月照寺と天文学館の間にある子午線標識。地元では「トンボの標識」と呼ばれて親しまれています。この標識は1928(昭和3)年の天文測量により決められた子午線上に建てられました。その後、1951(昭和26)年に月照寺境内で行われた天文測量により、子午線のより正確な位置がわかり、それまでより11.1m東の現在の位置に移動しました。



かご状の球の上には「あきつ島」(日本の異名)を象徴したトンボ(あきつ)が真南に向かって取り付けられています。その建設費の一部は市内の生徒児童と教員の寄付により賄われました。近代的なデザインですが、最初に建てられてから95年もの月日経っています。約100年の間、人丸山の上から日本の時を見守っているのですね。

場所 明石市人丸町
基準測地系 天文経度(S26)
設置年 1930(昭和5)年

2 時の道の子午線ライン

東経135度日本標準時子午線が通る明石は、「時のまち」です。それにちなんで、1987(昭和62)年に都心回遊路「時の道」が整備されました。明石駅から北東へ、明石城から文化博物館、天文学館を経て、中崎海岸、明石港を結びます。緑豊かな、歴史と文化を感じることができる道です。時の道の子午線ラインは、「都心回遊路」整備事業の一環で路面を石畳にしたときに、月照寺の前の通り(時の道)であるトンボの標識前の路上に完成したものです。石畳の路上に、斜めに子午線を示す筋が埋め込まれています。ぜひ、「時の道」をめぐるながら、子午線ラインを探してみてください。



場所 明石市人丸町
基準測地系 天文経度(S26)
設置年 1987(昭和62)年

4 明石市立天文学館

天文学館の建物は、開館50年を迎えた2010(平成22)年に国の登録有形文化財に指定されました。高さ54mの高塔は日本標準時子午線上にあり、高塔上部にある大時計が日本標準時を刻んでいます。電車からもよく見える建物は、明石市のシンボルとして多くの方に親しまれ、「遠方から地元へ帰ってくる時、電車から天文学館を見えると『帰ってきたな〜』と感じる」といった声も多く聞かれます。その姿は、近隣のみならず、明石公園や明石駅のホーム、駅前にあるパピオスあかしなど、色々な場所から見る事ができます。

現在は入館できませんが、14F展望室からは、トンボの標識や、その北側にある月照寺鐘楼下の子午線ライン、南側には人丸前駅のホームや子午線郵便局、国道2号の標識など、いくつもの子午線スポットを見渡すことができます。リニューアルオープンしたらぜひ、ご来館ください。



長寿院保育園南側から見上げた天文学館



文化博物館前の歩道橋から見る天文学館

場所 明石市人丸町
基準測地系 天文経度(S26)
設置年 1960(昭和35)年

5 人丸前駅プラットホーム



山陽電鉄人丸前駅は、東経135度子午線と交差する鉄道のうち、プラットホームに子午線が交差している唯一の駅です。また、この駅は近畿の駅百選にも選ばれています。ここから子午線

標識と、「時のまち明石」の象徴である天文科学館を眺めてみてはいかがでしょうか。



場 所 明石市大蔵天神町
基準測地系 天文経度(S26)
設置年 1991(平成3)年

6 子午線郵便局・ボランティアサポートプログラム (VSP) サインボード

子午線郵便局は、東経135度子午線上に建ち、局舎内と駐車場に子午線ラインが引かれています。サインボードは、明石子午線郵便局の南側に設置されていて、西側の支柱が東経135度子午線上に建っています。郵便局の駐車場に引かれた子午線のラインと標識の柱の影が、冬至の前後の正午ごろ一直線につながる仕組みになっています。



場 所 明石市人丸町
基準測地系 天文経度(S26)
設置年 子午線郵便局 2012(平成24)年
サインボード 2015(平成27)年

7 国道2号の標識

1930年、神明国道（現在の国道2号）の完成とともに、国道北側歩道上に建てられた、コンクリート製の子午線標識です。現在は、天文科学館の案内標識となっていますが、標識北面の覆いは、透明アクリル板となっており、コンクリート製の標識を見学できるようになっています。



場 所 明石市天文町1
基準測地系 天文経度(S3)
設置年 1933(昭和8)年

8 最初の子午線標識



1910年、当時の小学校長会で決議され、教員たちの寄付により建てられた日本最初の子午線標識です。これをきっかけに明石市に次々と子午線標識が建設され、明石市立天文科学館の建設にもつながった記念すべき標識です。天文科学館の時計塔の屋根と似ている外観の大蔵交番（子午線交番）の隣に設置されています。

場 所 明石市天文町2
基準測地系 天文経度(S3)
設置年 1910(明治43)年

9 明石区検察庁子午線標識

2015(平成27)年に建てられた新しい子午線標識で、明石区検察庁南側の敷地に建っています。世界測地系を基準としているため、天文経度を採用している他の子午線標識より西側にあります。検察庁南側の道路から見ることはできませんが、公共施設の敷地内になりますので、見学をされる際は施設を利用される方や近隣の方の妨げにならないよう気を付けてください。



場 所 明石市天文町2
基準測地系 世界測地系
設置年 2015(平成27)年

11 トンボの標識(レプリカ)

天文科学館北側にあるトンボの標識を模してつくられたものです。当初は市役所玄関前に建てられましたが、1990(平成2)年に中崎公園（現在の大蔵海岸公園）へ移設されました。銀色に輝く標柱は周辺の木々に映え、オリジナルとはまた違った表情を見せてくれます。



場 所 明石市中崎1
基準測地系 天文経度(S26)
設置年 1984(昭和59)年

10 モニュメント「刻」

1989(平成元)年に、明石子午線クラブが結成25周年と市制70周年を記念して設置しました。モニュメントは花壇の中にあり、春から初夏にかけては、色とりどりの花に囲まれます。開花時期に訪れてみると、大変華やかな印象の子午線モニュメントです。



場 所 明石市中崎1
基準測地系 天文経度(S26)
設置年 1989(平成元年)

12 大蔵海岸ランニングコース子午線表示



紹介する子午線表示では最南端、海沿いのランニングコースに設置された表示です。アスファルトの上に設置されており、子午線をまたぐことができます。また、背景に明石の海と明石海峡大橋が写るので、写真撮影にもオススメです。



場 所 明石市中崎1
基準測地系 天文経度(S26)
設置年 2015(平成27)年

大蔵海岸公園

モニュメント「刻」、トンボの標識(レプリカ)、大蔵海岸ランニングコース子午線表示の三つの標識が集まる「大蔵海岸公園」は、目の前に播磨灘が広がり、明石海峡大橋、淡路島を見渡すことができる、とても景色の良い場所です。これからの季節、散策やランニングなどを楽しむ人々にぎわいます。子午線標識と目の前に広がる海で、「明石」を感じてみてはいかがでしょうか。



北極星ってどんな星？

夜、いつも北の空にかがいている星がある。「北極星（ほっきょくせい）」というぞ。北極星を見つけると、北の方向がわかるんだ。

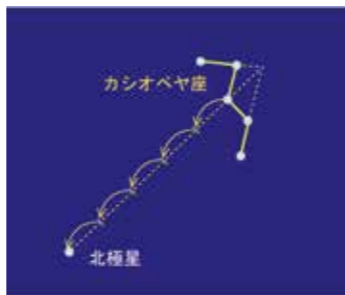
では、北極星はどんな星だろう？



Q 北極星はどうやって見つけるの？

A 北斗七星をつかって、見つけることができるぞ。北斗七星は、7つの星がつくるひしゃくの形をした星の並びで、「ひしゃく星」や「ななつ星」とも呼ばれているんだ。北極星を見つけないときは、ひしゃくの水を入れるところの外側にある2つの星を使うぞ。この2つの星の間の距離を、水が出る方へ5倍伸ばせば、北極星へたどりつけるぞ。ぜひ、チャレンジしてくれ！

秋から冬にかけては、北斗七星を見つけにくくなるので、カシオペア座から北極星を見つけてみよう。



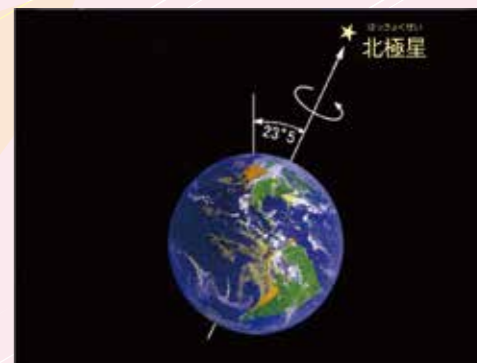
シゴセンジャーブルー

Q 北極星は何座にかがやくの？

A 北極星と近くの星を結ぶと、小さなひしゃくの形ができる。この星の並びは、こぐま座だ。北極星は、こぐまのしっぽの先に輝く星なんだ。そして大きなひしゃくの北斗七星は、おおぐま座の一部なんだ。

Q 北極星は、どうして北の空から動かないの？

A 地球は、北極と南極を結ぶ線（地軸）を中心に、グルグル回る自転をしているぞ。この地軸を北へ伸ばした先に北極星があるんだ。回転の中心にあるため、北極星は、動かないように見えるんだ。



目がグルグルするのじゃ〜



長い間、北の空をながめていると、北極星を中心に、まわりの星が、時計の針とは反対方向にまわっているように見えるぞ。

山名隆閣「明石城と北天ぐるぐる」

シゴセンジャーレッド



Q 北極星は、どこから見ても同じ位置に見えるの？

A 北緯35度に位置する明石から星空を見上げると、北極星は、地平線から35度の高さに見えるぞ。北極星の見える高さと同緯度は同じなんだ。だから、星を見上げる場所の緯度が違えば、北極星の見える高さが変わっていくぞ。明石よりも北（緯度が高いところ）へ行けば、北極星は、北の空のより高いところに見えるんだ。

北極星のことは「ほっとくぜい！」



ブラック星博士



24時間プラネタリウム

10月4日(土)～5日(日)

プラネタリウム誕生100年を記念し、国際天文学連合 (IAU) と国際プラネタリウム協会 (IPS) 主催の「24時間プラネタリウム」が10月4日(土) 12:00～5日(日) 12:00 (日本時間) にかけて開催されました。

この配信にあたり、明石市立天文学館のプラネタリウムが世界の拠点会場としての役割を担うことになりました。

当日は、IAUのシンシアさん、ケリーさん、ナオミさんたち、国立天文台の平松さん、福岡市科学館の丹野さんがスタッフとして来館され、井上館長と共にライブ配信を行いました。私たち天文学館職員もサポートスタッフとして配信に協力。配信を通じて世界と交流する貴重な経験をしました。

天文学館からの配信では、10月6日が中秋の名月であったことから、お月見文化を紹介しました。中でも様々な飲食店が販売している月見団子やお月見にちなんだハンバーガーに、関心を持たれた視聴者も多かったようでした。配信にはシゴセンジャーレッドとブラック星博士も登場し、明石を世界に知ってもらう絶好の機会となりました。

世界中のプラネタリウムを結び、プラネタリウムの魅力が世界中に向けて配信された一日となりました。



観月会(明石公園)、中秋の名月ライブ配信

10月6日(月)

「中秋の名月」は、旧暦の8月15日の夜に見える月のことです。お子やススキなどをお供えし、月を鑑賞する風習があります。中秋の名月を、明石市立天文学館YouTubeチャンネルでライブ配信しました。また、明石公園で開催された「明石城 観月会2025」に、天文学館も協力し、天体観望会を行いました。508人という大変たくさんの方にご参加いただきました。空はキレイに晴れ、月をながめたり、望遠鏡では月のクレーターや土星を観察しました。

中秋の名月をみなさんと一緒に楽しむことができました。



夏休み・児童生徒作品展～中学生の部～、中学生プレゼンテーション発表会

10月10日(金)～13日(月・祝)

市内の小中学生が夏休みの自由研究として制作した作品の展示を行う「夏休み・児童生徒作品展」。中学生の部は天文学館が休館中のため、会場を「あかし市民広場」に移して行いました。「草を生えにくくするための研究」「ビタミンCがレタスの初期成長に与える影響」「集中力と体感時間の関係」など身近な課題を解決するための方策をテーマにした研究を、多くの方が熱心に眺めていました。

また、最終日の10月13日には入賞者によるプレゼンテーション発表会を行いました。多くの人々が行き交う中で、緊張しつつも全員がしっかりと自らの調査、研究成果について発表することが出来ました。



夕焼けパンダライブ配信

10月12日(日)

「夕焼けパンダ」は、明石市榑屋町にある通信用アンテナと、天文学館からみた夕日(太陽)が重なってパンダの顔のようにみられる現象です。天文学館からみることが出来るのは、1年で2日だけです。YouTubeでライブ配信をし、みなさんと太陽をみまもりました。アンテナと夕日が重なるタイミングで雲がかかり、休館中1回目の夕焼けパンダは、パンダもお休みの「休館パンダ」でしたが、14階からの街並みや行き交う電車、明石海峡大橋の姿をみなさんと一緒に楽しむことができました。



山陽 鉄道フェスティバル 2025

11月1日(土)

11月1日、山陽電車 東二見車両工場で開催された「山陽 鉄道フェスティバル 2025」に「対話と共創コーナーワークショップ」と「移動式プラネタリウム」で参加しました。ワークショップでは、「みんなで創作 楽しい天文ダジャレ」と題し、井上館長指南のもと、多くの方がダジャレ作成を楽しみました。

「スターなスタート☆6000系」「時計台で焼いたほっとけいき」など、天文学館や電車でちなんだ素晴らしいダジャレができました。また、天文学館グッズの販売も行いました。

「移動式プラネタリウム」は車両工場内で行いました。レールの上に設置されたプラネタリウムドームの中で、その日見られる星空紹介のほか宇宙旅行に出かけるなど、鉄道ファンの方にも楽しんでいただけたのではないのでしょうか。



神戸マラソン2025 神戸・明石キッズラン

11月16日(日)

「神戸マラソン 2025」は、明石市大蔵海岸で折り返し、神戸ハーバーランドをフィニッシュとする新たなコースとなりました。新コースとなった「大蔵海岸」で、ランニングの楽しさをより多くの方へ伝えるために開催された神戸・明石キッズランでは、シゴセンジャーレッド・ブルー、そしてブラック星博士も、参加した未就学の子どもたちに、大きな声援をおくりました。声援をうけて、一生懸命に走る子どもたちの姿が、とても印象的なイベントでした。



アートパフォーマンスフェスタ イン あかし

11月22日(土)

11月22日に、あかし市民広場で行われた「アートパフォーマンスフェスタ イン あかし」(明石市・明石文化国際創生財団 主催)に参加しました。前衛書家の岩坂典子さんと共に、フロアイベントとして「体感VR書道」、ステージイベントとして「コスミック・アート・パフォーマンス」を行いました。「体感 VR書道」では、岩坂さんがVRの中で制作した書道作品を、VRゴーグルを用いて鑑賞していただきました。プラネタリウムソフトを用いて制作した星空を背景として書かれた立体的な書道作品に、近づいたり、中に入ったり、通り過ぎたりと、これまで見たことがない新しく自由な書道の鑑賞体験となりました。

ステージイベントでは、井上館長と岩坂さんの対談と、岩坂さんによるVR書道のライブパフォーマンスが行われました。古代中国の二十八宿が表される中、東方の青龍と南方の朱雀の美しい姿と漢字が徐々に創り上げられ、大きなモニターに現れました。星空と書道のコラボレーションとして、新たな可能性を感じることができたイベントでした。



軌道星隊シゴセンジャー巡業場所「20周年記念スペシャル」

12月7日(日)

2005年にデビューした軌道星隊シゴセンジャーは、2025年に20周年を迎えました。12月7日にはシゴセンジャーが休館中の天文学館を飛び出し、子午線ホールで20周年記念スペシャルイベントを行いました。

井上館長による挨拶、西山学芸員による星空解説の後、いよいよブラック星博士とシゴセンジャーの登場です。お馴染みの太陽系惑星がスクリーンに登場すると、会場には「水金地火木土海月めえ〜(冥)」の元気な声が響きました。そして今回は特別にシゴセンジャーイエロー、グリーン、ピンク、ブラック星博士の子どもも登場し、会場みんなに元気な姿を見せてくれました。また、スペシャルゲストとして明石観光PR隊長ババたこも登場！シゴセンジャーたちとクイズで楽しく過ごしました。

第2部では事前に募集したシゴセンジャーへのメッセージが紹介されました。みなさんのシゴセンジャーへの思い出や熱い想いが伝わってくるメッセージに、胸が熱くなる時間となりました。今後のシゴセンジャーの活動にもぜひご期待ください。



おうちで天文学館

休館中、動画「おうちで天文学館」を天文学館のYouTubeチャンネルで配信しています。クイズチャレンジのコーナーでは、軌道星隊シゴセンジャーやブラック星博士が登場し、楽しく宇宙や天文について学ぶことができます。星空案内のコーナーでは、毎月の星空の見どころや天文現象をプラネタリウム解説員が解説し、ワークコーナーではおうちでできる簡単な工作を紹介しています。現在、天文学館は、工事期間中のためご来館いただけませんが、動画をとおして楽しい時間をお届けしたいと思います。

YouTubeチャンネルはこちらからご覧ください。



出前紙芝居、移動式プラネタリウム

休館中も、園児や児童生徒のみなさんに星や宇宙について関心を持っていただくための活動として、移動式プラネタリウムでの星空紹介や出前紙芝居を行っています。

移動式プラネタリウムでは、直径6mのエアドームの中に星空を映し出し、星空や星座の紹介の他、太陽や月の動きなど学校の授業内容に沿ったプログラムを実施しています。出前紙芝居では、星や星座の物語、宇宙旅行、シゴセンジャーなどの紙芝居の他、星座クイズ、手遊びなどを行います。

とても近い距離でみなさんとコミュニケーションをとりながら行う紙芝居やプラネタリウム投影は、通常のプラネタリウムとは異なる楽しさや学びがあります。市内学校園のみなさまのご利用をお待ちしております。



館長 コラム

今月の表紙、なかなかいいでしょう？明石市立天文科学館のすぐ南にある長寿院保育園の園児の皆さんと、シゴセンジャーの記念写真です。事前に協力をお願いしていたので、みんな楽しみに待っていてくれました。シゴセンジャー・レッドの登場ではみんな大喜び。ブラック星博士からは「月の話にツキあってー」など声をそろえてダジャレの勉強。将来楽しみです。シゴセンジャーは、明石のキッズたちに、日常的なヒーローとしてすっかり定着したようです。休館中の外観とあわせて、今しか撮れない写真になりました。明石市立天文科学館の役割は、「子午線上で、時と宇宙と人をつなぐ場所」。日本標準時子午線という立地、「時と宇宙」をテーマとした博物館、そこに集う人々。写真は「天文科学館を体現する1枚」と思っています。

他にも、うれしいことがありました。2026年1月12日、シゴセンジャーが「明石市はたちのつどい」にサプライズゲストとしてお招きにあずかったのです。シゴセンジャーの地球登場から20年。手作りのローカルヒーローにとって最高に光栄な出来事です。ありがたいことに会場は大盛り上がり。動画を当館 YouTube チャンネルにアップロードしましたので、ぜひご覧ください。みなさんのよき思い出になれたらうれしく思います。

休館を経て、多くの再開を待つ声をいただき、当館は「たからもの」だという思いを強くしています。ハードもソフトも「時と宇宙の博物館」としてしっかり整備して、この夏のリニューアルを迎えたいと考えています。

館長 井上毅



明石市はたちのつどい2026



YouTubeチャンネル
QRコード

4月~6月 イベント情報



EVENT INFORMATION

星の友の会・時と宇宙の写真展

4月4日(土)~4月19日(日)

明石市立天文科学館星の友の会会員が撮影した時や宇宙に関する写真を展示します。

● 会場：イオン明石ショッピングセンター 2番街2階通路



過去の展示風景

トワイライトプラネタリウム-今宵、銀河の果てまで-

4月17日(金)、5月15日(金)

仕事や学校帰りにプラネタリウムはいかがですか。満天の星を見上げ、宇宙に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

- 投影開始時刻：各日18:00、18:50、19:40
- 投影時間：約30分
- 定員：各回25名
- 会場：あかし市民広場



StellaNavigator/AstroArts



ほっとけないDAY2026

6月6日(土)

6月10日の「時の記念日」に関連し、「時」をテーマにして講演会や日時計づくりなどのワークショップのほか、移動式プラネタリウム投影を行います。

● 場所：あかし市民広場



こいのぼり日時計

天体観望会

※天候により中止になる場合があります。

4月25日(土) 19:00~20:30
5月22日(金) 19:30~21:00

月や金星など、その夜に見られる天体を望遠鏡で観望します。

- 参加方法：当日受付。開催時間内に会場にお越しください。
- 場所：明石公園東芝生広場



「星空のレシピ」に広告を掲載希望の業者の方は、明石市立天文科学館までご連絡ください。

《広告》

2026年度
明石市立天文科学館



星の友の会
会員募集!

※詳しくは、HPなどをご覧ください。

年会費

個人会員：2,000円 ※小学4年生以上
(10/1以降の入会は1,000円)
家族会員：3,000円 ※同居している家族
(10/1以降の入会は1,500円)

特典

- ★年間の星の友の会行事への参加回数に応じてお楽しみプレゼント (4回・8回/例会・友の会天体観望会・野外天体観測会など)
- ★例会の開催 (例会参加時の入館料は無料)
- ★野外天体観測会・施設見学会等の開催 (別途費用が必要)
- ★天文科学館の天体観望会の参加費無料
- ★星の友の会天体観望会も開催
- ★友の会会報「135°の星空」の発行・配布
- ★館広報誌「星空のレシピ」の配布、イベント等も随時お知らせ
- ★天文科学館ボランティア『天ボラ』に参加できます

2025年10月1日～
2026年夏頃(予定)まで
全面休館します

休館中も天体観望会、移動プラネタリウムなど出張イベントを開催！詳しくは当館ホームページをご覧ください。



■施設概要

日本標準時の基準となる東経135度子午線の通過地に建てられた「時と宇宙の博物館」です。プラネタリウムは現役では日本最古、稼働期間も日本一です。

■交通のご案内



- JR明石駅下車 東へ1km(徒歩約15分)
- 山陽電車人丸前駅下車 北へ約0.2km(徒歩約3分)
- 車では国道2号線人丸前交差点から北へ約0.2km
- 第二神明道路 大蔵谷I.C.から南西へ約3km
- 明石海峡大橋からは垂水出口を左折し、約6kmで国道2号線へ。国道2号線を西へ約4km(約20分)

明石市立天文科学館

<https://www.am12.jp/>
X(旧ツイッター)@jstm135e
〒673-0877 兵庫県明石市人丸町2-6
TEL.078-919-5000/FAX.078-919-6000
e-mail: otoiawase-tenmon@city.akashi.lg.jp



SEIKO
EMBLEM



時間、それは宇宙からの贈りもの

移ろう光によって様々に変化する表情が空間にアクセントを添えます。
確かな時を刻む衛星電波ムーブメント採用。

SEIKO

お問い合わせ先: セイコーウォッチ株式会社 クロックお客様相談室 0120-315-474 (9:30~17:00 土・日・祝日を除く) <https://www.seiko-clock.co.jp>

